

持続可能な循環型モデル支援事業の企画提案募集 (令和5年度地域振興推進事業)

奄美群島が誇る奄美ならではの地域資源を地域活性化に生かすモデル事業を実施し、「住み続け暮らしやすい奄美地域の形成」を図るため、事業の企画提案を募集します。

応募受付期間 令和5年5月12日（金）～令和5年6月9日（金）午後5時

対象団体

県内に活動拠点を有し、1年以上の活動の実績がある団体等

- (1) 法人格を有する事業所等
- (2) NPO法人などの民間の非営利活動団体（任意団体の場合は、会則や規約等を有し、適正な事業計画書、予算・決算書が整備されていることを条件とします。）
- (3) 地域コミュニティ組織（自治会、町内会、地域コミュニティ協議会等）

対象事業

次の全てを満たす必要があります。

- (1) 営利を目的としない事業であること。
- (2) 「住み続け暮らしやすい奄美地域」の形成にむけたモデル事業であること。また、奄美群島における広域的課題やその地域ならではの課題の解決に向けて取り組む先進的・先駆的な事業であること。
- (3) 団体等の特性（専門性、柔軟性、自発性、個別性、多様性、機動性等）を活かすことにより、成果が期待できる事業であること。
- (4) 事業終了後（翌年度以降）も事業成果を活かした取組が行われる事業であること。

事業実施期間 令和5年8月～令和6年2月末

事業報告・精算 令和6年3月中旬

事業費 1事業あたり1,500千円以内

事業数 5事業（団体）

選考

企画提案競技にて決定します（選考結果は令和5年6月末頃に通知予定）。なお、事業内容等に関するプレゼンテーションを実施します。

事業内容

(1) 事業の目的

奄美群島は、豊かな自然環境や農林水産物、伝統工芸品、島ごとに異なる魅力を持つ多彩な文化、人と人とのつながりである「結いの精神」など様々な地域資源を有している一方、高齢化や若年層の人口流出などにより地域・集落の力が弱まりつつあり、群島全体で人口・労働力などが縮減しています。

このような状況の中「持続可能な奄美群島」の実現に向け、奄美群島が誇る奄美ならではの地域資源を地域活性化に生かすモデル事業を実施することで、住み続け暮らしやすい奄美地域の形成に取り組みます。

【地域形成のイメージ（例）】

⇒ 奄美群島ならではの地域資源（例：豊かな自然環境や農林水産物、伝統工芸品、結いの精神や集落に残る文化など）を地域活性化に生かした事業を想定。

⇒ 地域活性化のテーマ例

- ・地域全体での子育てサポート
- ・「シマ」を愛し世界に通用する人材の育成
- ・文化・スポーツの振興
- ・観光と環境の両立、脱炭素社会に向けた取組の促進
- ・にぎわい創出・地域の活性化
- ・移住促進（UIJターンの動機付けや集落と移住希望者との相互理解）
- ・農林水産物の販路拡大
- ・食育、花育及び魚食普及の推進（地産地消）
- ・地域資源（物的・風習など有形無形問わず）の再確認・発見・継承
- ・伝統工芸品等の認知度向上、担い手育成 など

(2) 取組の具体例

事例①：ガイドや旅行会社に対して環境文化の講習を実施。

ガイドの専門知識の深化・技能向上等のレベルアップを図る。

事例②：群島内で学術研究を行う教育機関が、風土や自然環境に関する研究結果を地域集落に紹介。成果を地域に還元し、住民の意識醸成や地域を担う人材の育成を図る。

事例③：地域の風習をデジタルパンフレットとして作成・保存。観光パンフレットとして活用

事例④：群島内のステークホルダー（行政・事業者・住民など）に対し脱炭素の理解促進に関するセミナーを実施など

事例⑤：集落内での観光客受入に関する自主ルール策定、おもてなし講習の実施、マニュアル作成、集落あるきのデジタルハザードマップを作成

事例⑥：ワーケーションや漁業・農業体験などを観光コンテンツ化するため、モデルツアーを実施 など

問合せ先

〒894-8501 鹿児島県奄美市名瀬永田町17-3 鹿児島県大島支庁総務企画部総務企画課 地域振興係
TEL：0997-57-7218 FAX：0997-57-7219 Email：oosima-s-chiiki@pref.kagoshima.lg.jp